

アナライザー PSF®-1000

レフラクトメーター機能に加え、網膜像シミュレーション機能を搭載

この度、当社は患者様が「どのように見えているか」をシミュレーションできる新しいレクラク
トメーター～PSFアナライザー『PSF®-1000』を発売致しました。

- 患者様が『どのように見えているか』を評価することができます。
- より説得力の高いインフォームドコンセントが行えます。
- 近年増え続けている白内障の術前経年変化の診断に有効です。

眼の屈折力、乱視度数／乱視軸を表示すると同時に、取得した眼の光学特性に関する情報を使って、付属専用ソフトウェアにより眼球光学系の空間周波数特性（以下、「MTF」）及び網膜上に出来る像の点像強度分布（以下、「PSF: Point Spread Function」）を算出し、これを基に網膜上のシミュレーション網膜像とコントラスト特性とを表示することができます。また、偏光光学系を採用していますので、白内障等による中間透光体に混濁があっても測定可能です。



これらの付属専用ソフトウェアにより、今まで患者様の主訴から推定していた「どのように見えているか」を他覚的に再現することが可能となりました。患者様に「どのように見えているか」を表す網膜像のシミュレーションやコントラスト特性を示しながら説明することで、患者様と医師との相互理解が深まります。特に、白内障患者様の変化を定量的に記録できるようになりますので、最近のインフォームドコンセントを重視する病院／診療所様向けの測定機として最適です。

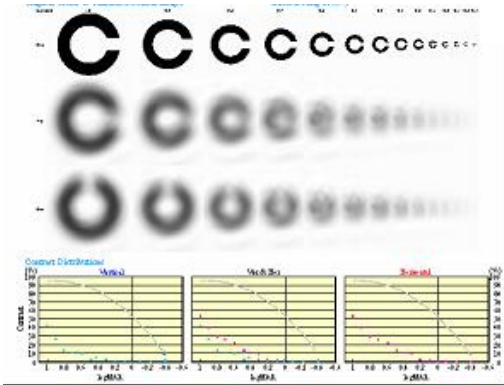
特長

- ・球面屈折力、円柱乱視屈折力、乱視軸方向の測定ができます。（白内障等による中間透光体に混濁があっても、測定可能。ただし強い混濁がある場合は除く）
- ・重度の屈折異常眼の診断ができます。
- ・シミュレーション網膜像とコントラスト特性、MTFを表示します。
- ・白内障などによる中間透光体の混濁による網膜像の劣化状況がわかります。
- ・HCL（ハードコンタクトレンズ）装着眼、IOL（眼内レンズ）挿入眼の網膜像のシミュレーションができます。

仕様

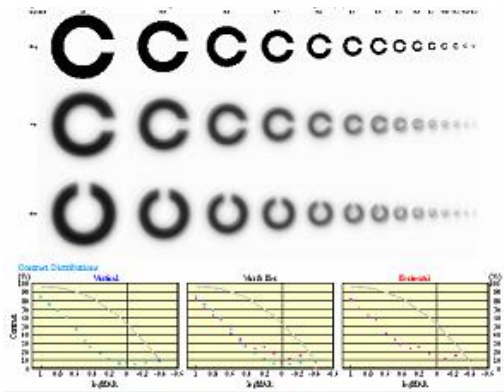
球面屈折力：	-15D～+15D
円柱屈折力：	0D～±8D
乱視軸方向：	0°～180°

但し、球面屈折力+円柱屈折力 \leq +15D、または球面屈折力+円柱屈折力 \geq -15D
 視標固視： 風景チャート
 測定値表示： パソコンによる
 測定値記録： パソコンによる



患者さんは、実際にはこんな感じに、ぼやけて見えている。

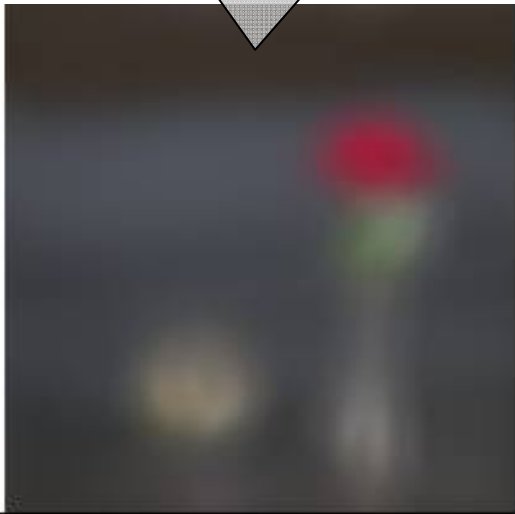
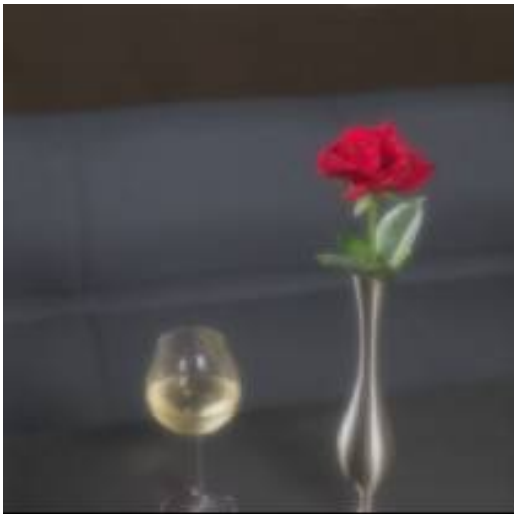
白内障術前モニター画面：
シミュレーション網膜像・コントラスト特性



手術の後に、見え方が改善したことがわかります。

白内障術後モニター画面：
シミュレーション網膜像・コントラスト特性

患者さんは、こんな感じに、ぼやけて見えているのです。



上の2枚の写真の様に見え方の違いがシミュレーションできますので患者様や、その付き添いでいらしている家族の方々への説明に説得力が増します。

販売名称：PSF アナライザーPSF[®]-1000

医療機器届出番号：13B1X00030PSF001

※「PSF」は株式会社トプコンの登録商標です。